

## 女子大生のニューノーマルを読む ～緊急アンケートで見た『コロナ禍による女子大生の消費動向と価値観の変化』

このたび武庫川女子大学（本部：兵庫県西宮市、学長：瀬口和義）の経営学部教員高橋千枝子が、本学学生を対象に、コロナ禍による消費動向と価値観の変化について緊急アンケート調査を実施し、その調査結果の概要をまとめました。コロナ禍によって学生は自宅での遠隔授業となり、これまでのように自由に外出したり、友人とも会えなくなりました。このコロナ自粛生活によって消費動向が大きく変化したとともに、価値観も大きく変化しました。トレンドを牽引するZ世代である現役女子大生の「ニューノーマル」を知ることは、今後の社会や消費経済を予測する上で重要です。

### 【サマリー】

- ✓ 動画配信サービスやSNSで時間を過ごす一方、料理を含む家事をよく手伝っている。
- ✓ 今後も動画視聴やSNS、メールやLINEを使う時間を減らさないが、映画・ドラマの視聴や睡眠時間は減らすとしている。
- ✓ 自粛生活に必要な最寄品と、娯楽・コンテンツや通信費への支出は増えたが、ファッションや化粧品への支出は減っている。
- ✓ 9割がコロナ自粛生活での価値観の変化を認識している。具体的には、家族・家庭志向、遠隔学習志向、潔癖志向、堅実志向、刹那志向がみられた。
- ✓ 女子大生のニューノーマルには地元志向、母娘消費、丁寧な暮らしというキーワードがみられる。

### 【調査概要】

調査対象：共通教育科目「女性のためのマーケティング（マーケティング入門）」履修者・履修経験者

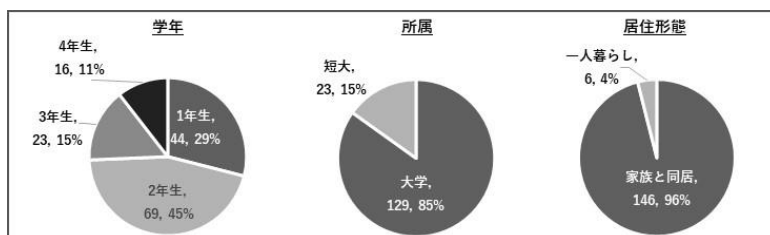
調査方法：Google フォームを使ったアンケート

有効回答：152

調査期間：2020年6月2日～6月9日

調査項目：コロナ自粛生活の時間の使い方・消費行動・価値観

### 【回答者属性】 ※1・2年生には短大生を含む



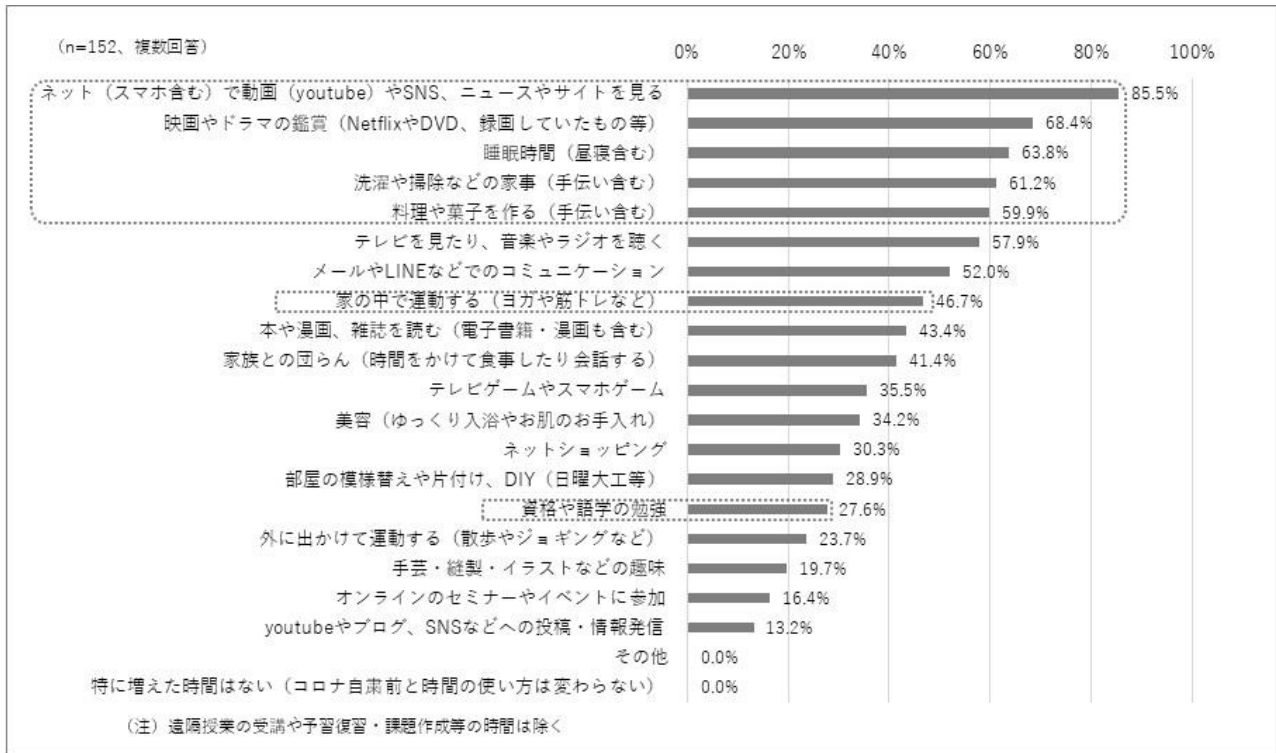
### 【調査結果】

## 1. コロナ自粛生活での「時間の使い方の変化」

### (1) これまでより増えた時間

コロナ自粛生活でこれまでより増えた時間で最も多い回答は「ネットで動画やSNS、ニュースやサイトを見る」であり全体の8割を超えています。その次は「映画やドラマの鑑賞」「睡眠時間」「洗濯や掃除などの家事」「料理や菓子を作る」と続きます。スマホで動画やSNSをチェックして、動画配信サービスで映画やドラマを見て、昼寝したりと、ごろごろする日々が伺えます。また料理を含む家事をよく手伝っている姿が伺えます。

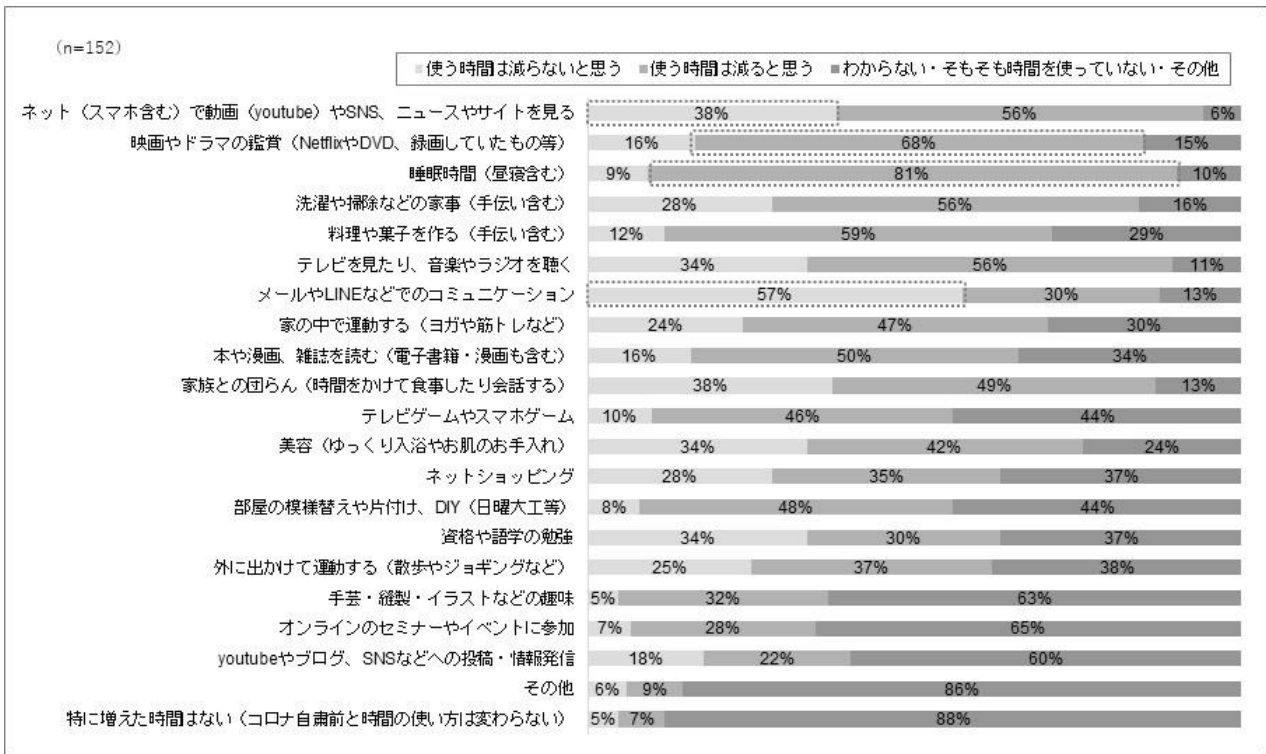
日々の遠隔授業に加えて、5割弱が「家の中で運動する」、3割弱が「資格や語学の勉強」に取り組むなど、ごろごろするだけではない学生も一定数います。



### (2) 今後の時間の使い方

コロナ自粛生活が終わった後（ポストコロナ）の時間の使い方について、(1)これまでより増えた時間の上位5項目のうち、「ネットで動画やSNS、ニュースやサイトを見る」は全体の約4割が「(今後も)使う時間は減らないと思う」と回答する一方、「睡眠時間」は約8割、「映画やドラマの鑑賞」は約7割が「(今後は)使う時間は減ると思う」と回答しています。(1)上位5項目以外では、「メールやLINEなどでのコミュニケーション」も約6割が「使う時間は減らないと思う」と回答しています。

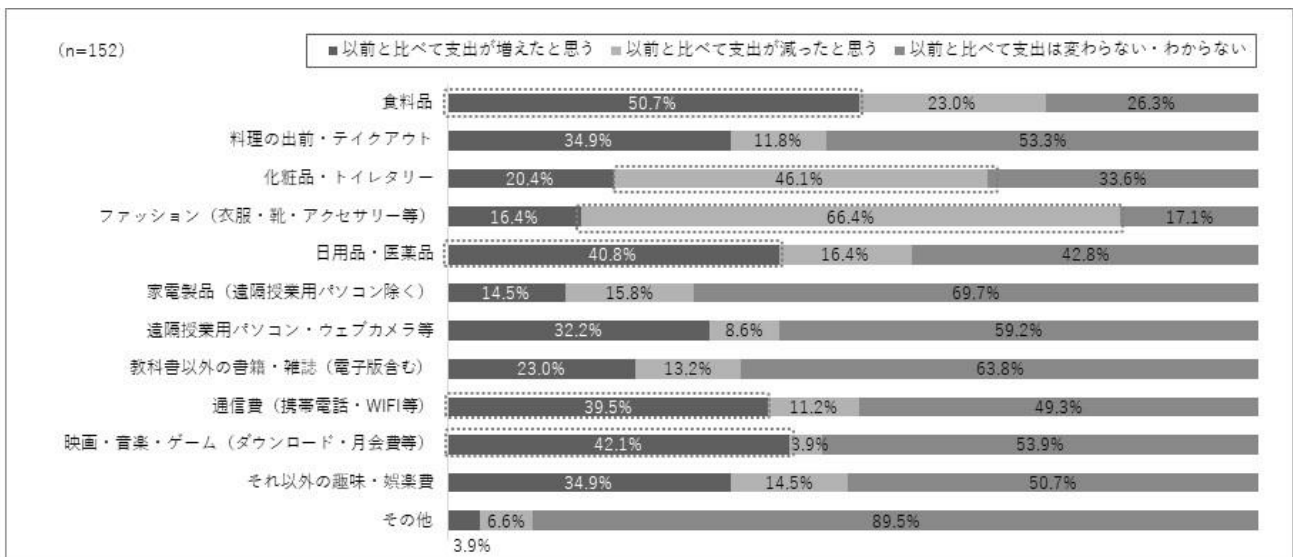
スマホでのコミュニケーションや動画視聴・SNSなどにはこれまでと変わらず時間を使いますが、在宅時間が減ることで、まとまった時間が必要な映画・ドラマの鑑賞や睡眠時間は減ることが予想されます。



## 2. コロナ自粛生活での「消費動向」

### (1) これまでより支出が増えたもの・減ったもの

以前と比べて支出が増えたものの上位4項目は、「食料品」（約5割）、「映画・音楽・ゲーム」「日用品・医薬品」「通信費」（いずれも約4割）です。一方、以前と比べて支出が減ったものとして、「ファッション」（約7割）と「化粧品・トイレタリー」（約5割）が突出しています。自粛生活に必要な最寄品と、豊富な自由時間を楽しむための娯楽・コンテンツ・通信費への支出が増え、外出する機会が激減したためファッションや化粧品への支出が減っていることがわかります。



## (2) コロナ自粛生活で購入したもの・気にしているもの（自由表記）

### ① 娯楽

最も多かったのは動画配信サービスの利用で、Netflix と AmazonPrime がトップ、Hulu やディズニーシアター、d アニメストア、FOD・Paravi などのテレビ番組配信サービスが続きます。具体的には、マーベルシリーズ、愛の不時着や梨泰院クラスなどの韓国ドラマ、プリズンブレイクやウォーキング・デッドなどのシリーズ物にはまった人が多くいました。また家庭用ゲーム機 Nintendo Switch で「あつまれどうぶつの森」や「リングフィットアドベンチャー」に熱中した人も多くいました。他には小説をじっくり読んだり、シリーズ物の漫画を楽しんだり、好きなアーティストのライブ DVD でストレス解消する人もいました。Youtube や Tiktok を楽しむ人も多かったです。

### ② 美容・ファッション・スポーツ

美容・ファッションへの支出は減っていますが、ZOZOTOWN などのファッション通販サイトでコロナ後の夏服を先に購入したり、自粛生活用のルームウェアやジョギング用スポーツウェアを購入したり、自粛生活の中でもファッションを忘れない人もいました。美容に関してはメイク用品を挙げた人は少なく、フェイシャルマスクやコロコロローラー、クレンジング、化粧水や美容液など、時間をかけてスキンケアする人が多かったです。たっぷり時間があるので、ファッション雑誌や美容サイトをじっくり見ているようです。スポーツに関しては、ヨガマットを購入して、自宅で運動する人が多く、他にもバランスボールやフラフープ、スケートボードなどの運動器具で運動不足解消に取り組んでいます。筋トレ動画を見て取り組んでいる人も複数いました。

### ③ 食事・食品

家族との同居が多いため自炊用食材を挙げた人は殆どいませんでしたが、低糖質麺やサラダチキンなど低カロリー食品にはまったり、ホットケーキや生クリーム・お菓子キット・家庭用タピオカミルクティなど自宅でのお菓子づくりにはまった人もいました。他には出前館や宅配ピザ、UberEats など宅配・テイクアウトをよく利用したり、冷凍麺・冷凍パスタ・カップ麺・フルグラなど簡単に食べれる食品をよく利用していました。自粛生活ではお菓子にはまった人が多く、ジャガビーを大人買いして「幸せ」を感じる人もいれば、食欲を抑えるために「ガム」を噛んでいる人もいました。ホームベーカリーでパン作りを楽しむ人も複数いました。

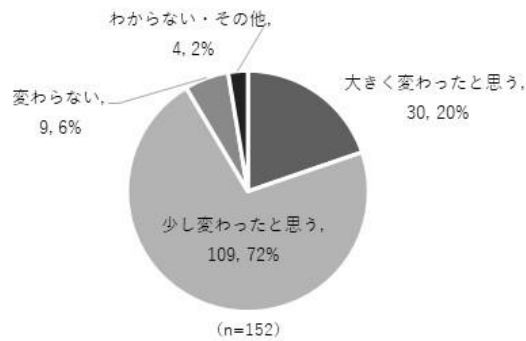
### ④ 情報機器その他

遠隔授業になったこともあり、パソコンやタブレット、ワイヤレスイヤホンを購入した人が多くいました。ワイヤレスイヤホンでは特に AirPods シリーズは人気です。また Chromecast (クロームキャスト) や FireTV、プロジェクター、PC メガネやスマホ立てなどを新たに購入して、自宅での情報環境を整える人も複数いました。さらに自宅で趣味を楽しむために、ギターやプラネタリウム、刺しゅうセット、野菜栽培セット、色えんぴつセットなどを購入した人もいました。

### 3. コロナ自粛生活での「価値観の変化」

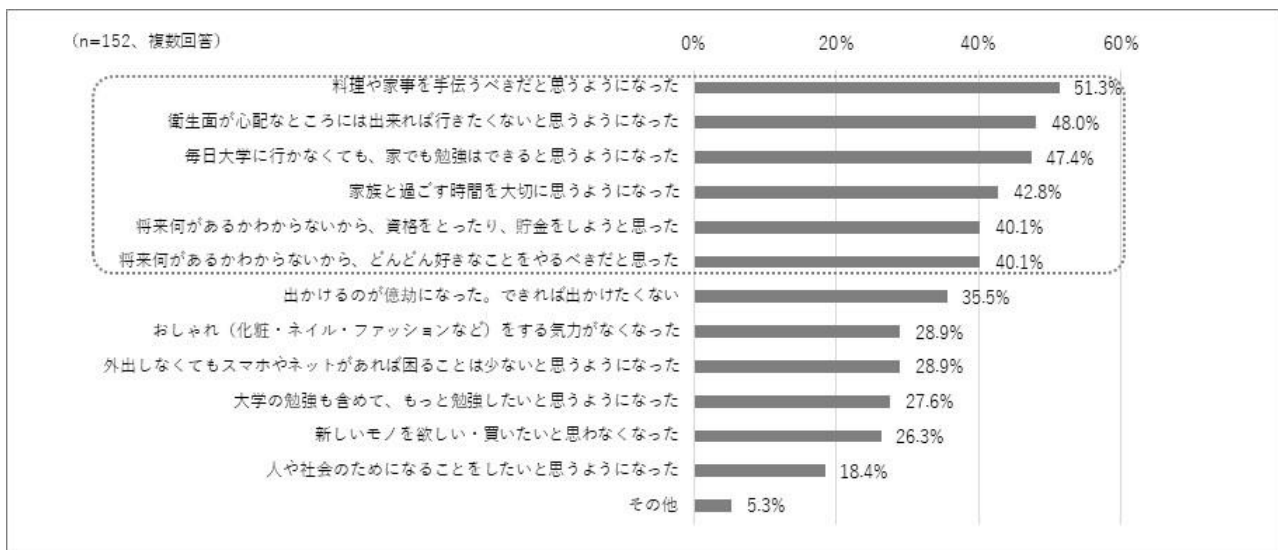
#### (1) コロナ自粛生活での価値観の変化

コロナ自粛生活で「(価値観が)大きく変わったと思う」が2割、「少し変わったと思う」が約7割と、合計9割もがコロナ自粛生活での価値観の変化を認識しています。



#### (2) 具体的な価値観の変化

4割以上が回答した項目は6つあり、「家族と過ごす時間を大切に思うようになった」「料理や家事を手伝うべきだと思うようになった」という家族・家庭志向、「毎日大学に行かなくても、家でも勉強はできると思うようになった」という遠隔学習志向、「衛生面が心配なところには出来れば行きたくないと思うようになった」という潔癖志向、「将来何があるかわからないから、資格をとったり、貯金をしようと思った」という堅実志向、「将来何があるかわからないから、どんどん好きなことをやるべきだと思った」という刹那志向がみられました。特にキャンパスでの対面授業を基本としている大学教育において遠隔学習志向は考えさせられる結果となりました。



### 4. コロナ自粛生活を通じて感じたこと・思ったこと（自由表記）

「コロナ自粛生活を通じて感じたこと・思ったこと」で多かった意見をまとめました。

- ◇ 遠隔授業でも十分学べるし、自宅の方が集中して勉強できる。通学時間や定期代が無駄に思う。
- ◇ 遠隔でも授業以外に就活（WEB面接）やイベント参加もでき、移動距離の問題がなくなった。
- ◇ 自由に外出して友達と遊んでいた、普通の日常生活の有難みを実感した。
- ◇ 家族と過ごす時間を大切に思うようになった。特に母親の大変さがよくわかった。

- ◇ 自宅で過ごす時間が快適すぎて、もう外に出たくない。
- ◇ 人との関りを大切に思う一方、人と会わない生活で人間関係のストレスが減った。
- ◇ 早く対面で授業を受けたいし、友達とも会いたい。
- ◇ 運動不足で体を動かしたい。部活を再開したい。
- ◇ ニュースを見る機会が増えて、国毎の対応の違い、人の価値観の違いについて知った。
- ◇ 政府や政治家の対応の遅さが気になり、もっと政治や社会に関心を持つとうと思った。
- ◇ 医療従事者が頑張ってくれたように、自分も将来社会に役立つことをしたい。

## 5. まとめ「女子大生のニューノーマル」

女子大生への緊急アンケート調査で見えたのは、突然の自粛生活と遠隔授業に当初は戸惑ったものの、遠隔授業に慣れていき、動画視聴やおこもり美容など在宅での楽しみを見つける柔軟な姿と、料理を含む家事を手伝う親孝行な姿である。それに伴う、最寄り品を中心とした様々な消費が見られた。

そして9割もの学生がこのコロナ禍を通じた価値観の変化を認識している。特に「毎日大学に通わずとも自宅で勉強ができる」との一定割合の意見は大学教員として考えさせられるものであり、遠隔（オンデマンドやライブ）で学べる内容と対面でないと学べない内容との見極め、通学時間と交通費を使ってまで学ぶ価値のある授業づくりなど、教育サービス提供側にとっては今後の課題である。遠隔に慣れた彼女達（遠隔デフォルト世代）が社会に出た時、通勤時間や通勤ラッシュに価値を感じず、リモートワークがより拡大するのではないだろうか。

また家族や家庭を重視する価値観の変化も見られ、家族と離れた働き方は望まず（地元志向、自宅通勤派）、家族との食事や交流を大切にしていこう。特に自由意見でも見られたが「母（主婦業）の大変さが良くわかった」「父親が家のことを何もしなかった」と娘は母の良き理解者となり、コロナ禍を通じて母娘の絆はより深まり、母娘単位の行動や消費が増えると思われる。さらに自粛時間の中で、料理や菓子づくり、手をかけたお肌のお手入れに目覚めた人も少なくなく、時間をかけて生活を楽しむ「丁寧な暮らし」が定着するだろう。

社会に出る前に「人生何が起こるかかわからない」という経験をしたことで、より政治や社会に関心を持ち、予測できない未来への危機感を持ったのではないだろうか。

\*\*\*\*\*

### 【武庫川女子大学とは】

武庫川女子大学は兵庫県西宮市に本部を置く女子総合大学（大学：10学部17学科、短大：7学科）であり、約1万人（大学・短大）の女子学生が学んでいます。女子大学における学生数は日本一です。

<https://www.mukogawa-u.ac.jp/index.html>

### 【お問い合わせ先】

本調査に関するお問い合わせ、女子学生の消費動向・ニーズ調査等にご関心の方は下記までご連絡下さい。

武庫川女子大学経営学部教授 高橋千枝子

(連絡先) chietaka★mukogawa-u.ac.jp

※★を@に変えてお送りください。